

5月は青少年奉仕月間です

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



2024-25年度 ステファニー A. アーチック RI会長

例会予定 5月28日 地区研修・協議会報告 セミナー参加委員会委員長
6月 4日 2024-25 年度事業実績報告

VOL.62 No. 26 (通算No. 2751)

2025年5月21日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

会長エレクト研修セミナー報告

石井康弘会長エレクト



写真提供者:青木正弘会員

2024-2025年度 会長 五木田裕一

幹事 大澤 清

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0034 茨城県常総市水海道天満町4684
常総市生涯学習センター2F 研修室

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1111

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町3386
釜久ビル3階

TEL 0297-30-0875 Fax 0297-30-0876

Email mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

5月は青少年奉仕月間です

例会報告 VOL.62 No.25 (No.2750) 5月14日(水) 曇り (司会 中山英俊委員長)

本例会での主な事項

◎会長あいさつ

◎地区チーム研修セミナー報告

北村英明会員・石塚 徹会員

ビジター

米山奨学生 ヌグロホ・ファドリ君

【あいさつ】

2022年4月に日本に留学し、2023年に大学に入学しました。

趣味は、登山とボクシングです。

よろしくお願いします。



ファドリ君とカウンセラー北村英明会員

誕生祝



《会 員》石塚 徹会員 青木清人会員 熊谷 昇会員 石塚利明会員
《ご夫人》染谷(正)会員

諸報告

ロータリーの友委員会 石塚利明委員

ロータリーの友5月号のご案内

横組み P5 RI 会長メッセージ

P7~11 特集・青少年奉仕月間 ミライへの扉を開く

P35 内外よろず案内 米山梅吉誕生地近くに名盤を設置



写真提供:石塚利明会員

縦組み P4~8 SPRRCH 川上憲人 企業・組織におけるメンタルヘルスはなぜ大事か

P9~12 この人訪ねて 安福良直さん

P19 卓話の泉

5月は青少年奉仕月間です

分区ゴルフについて 齋藤広巳会員

5月15日(木)第7分区のゴルフコンペです。水海道からは20名の参加となっております。担当クラブは守谷RCですが、2名の参加ですのでお手伝いできる方は7時30分集合をお願いします。

親睦活動委員会 石塚 徹委員長

観劇会(大相撲観戦)ありがとうございました。5月22日(木)はクラブ親睦ゴルフです。まだ返事を頂けてない方はよろしくをお願いします。

公式訪問配車について 古矢 満地区副幹事

7月から始まります公式訪問で、配車割り振り表を作成しております。未提出の方はよろしくをお願いします。

幹事報告 大澤 清幹事

週 報 なし
例会変更 なし

会長挨拶 五木田裕一会長



皆様こんにちは。5月第1回例会のご挨拶を申し上げます。

今日は、新しい米山留学生のヌグロホ・ファドリさんがお越しです。会員一同歓迎申し上げます。これからの期間、勉学に励んでください。

本日から3回わたり、三大セミナーにご参加いただきました次年度会長エレクトをはじめ次年度各委員長の皆様から、報告を頂きたく存じます。よろしく願い申し上げます。

さて今年もゴールデンウィークが終わり、春本番から初夏の陽気になってまいりました。振り返りますと、今年の冬は災害級の降雪がありました。青森県八甲田山系酸ヶ湯では、積雪が今年2月、5mを越したそうです。このような状況ですので、雪下ろし作業などにより、約1,100名の死傷者が出て、うち67名の方が命を落とされたそうです。雪下ろし作業は、非常に大変で危険を伴う作業だそうです。そんな雪も、この季節になれば、きれいさっぱり消えてしまいます。非常に徒労感の多い作業だ、徒労感の塊なのだが、やらないわけにはいかない作業、本当にお金だけが消えてゆく作業と言っていたのが印象的でした。

平地ではすでに雪が消え、山岳地帯でも雪融けが進んでいるものと思います。この雪による降水が、日本の水事情を支えているといっても過言ではないでしょう。雪が融け、地中に染み込み地下水となり、やがて私たちの生活を支える水になりますし、田畑を潤す農業用水にもなります。山肌に出現する残雪の形を「雪形」と言うようですが、地理関係の学会誌等に多く紹介されております。窪みに雪が残るタイプと、雪が融け山肌が黒く見え、形を形成しているタイプに二分されます。

どちらも比較的急峻な地形に形成されることが多いようです。関東周辺でも、福島県吾妻小富士の雪形が有名です。白いウサギ型が出現するそうですが、地元では「種まきうさぎ」と称し、農作業の目安になっているそうです。自然現象を基にした経験則ですので、地元では天気予報より確実だとさえ言われているようです。このような現象を利用し、季節の移ろいを感じるのには、人間の知恵そのものだと思います。

これからの季節、雪に閉ざされていた北国でも、青空の下、残雪が光る山々、ふもとでは木々の新緑が日に日に濃くなり、水田では、稲も少しずつ遅くなっている頃でしょう。何となく皆様の心のどこかにある日本の原風景ではないでしょうか。

簡単ですが、以上挨拶を終わります。本日もよろしくお願い申し上げます。

5月は青少年奉仕月間です

地区チームラーニングセミナー報告

北村英明ロータリーの友地区代表委員



今年度からラーニングセミナーと名称変更された本セミナーは、3月23日(日)ホテルグランド東雲にて開催されました。水海道ロータリークラブが主管して開催した瀬戸年度3大セミナーの皮切りのセミナーでした。

当日は沢山のクラブ会員の皆様のご協力、いわゆる そつなく スムーズに問題無く開催できましたこと、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。大変御苦労様でした。

私の立場は、地区への出向はしておりますが、“ロータリーの友地区代表委員”という役職でして、いわゆる地区役員です。クラブ奉仕・四大奉仕・ローターアクト・ロータリー財団・米山記念奨学会といった委員会の委員ではありません。したがって、各分科会にも出席したわけでもないため、事細かに説明ができないため、概略のお話となります。

本会議場にいた方はご存知とは思いますが、式典の後、瀬戸ガバナーエレクトからRI会長メッセージ・地区方針発表、大野PGから地区における危機管理(特に米山奨学生に対する接し方など)、大高ガバナーから3-Year Targetsについて、高橋PGからは戦略計画委員長として地区の戦略計画・規定審議会について、ご説明が有り午前中は終了して昼食となりました。1時間ほどの分科会の後、第1分区～第8分区ガバナー補佐の皆様の方針発表、その後各総括委員長からの方針発表がありました。地区ラーニングセミナーについての主旨説明がファシリテーターとして高橋健吾PGが大久保PGの代理としてありました。午前中に引き続き、高橋様の出番がかなり多く、お忙しくされていた印象があります。

瀬戸GEの地区方針の中で、1番最初に掲げられた行動指針が心に残りました。椎尾弁匡さん、という仏教学者・僧侶・政治家であられた方のお言葉が引用されました。

時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命

今、何が大切かと考えたとき、結果としてこの一瞬をできる限り努力をする事に尽きるのではないのでしょうか。ついつい先を見て焦ってしまいます。先走ってやらなくても良いことをして失敗してしまいがちです。でも足元を確実に固め、ゆっくりといいですから「生ききる」ことです。その打ち込む姿勢が「永遠の命」に帰結していきます。

誠に宗教家らしい、深い意味のある、我々会社の経営者・責任者 ロータリアンとしても日常生活・生業の活動・社会奉仕等の奉仕活動・趣味の分野 など、あらゆる行動について肝に銘ずるべき名言かと思えました。

第7分区G補佐エレクトの牛久RC中村様のお話では、瀬戸GEが大好きで、ご自分で手を挙げて補佐に立候補した、瀬戸さんに命を捧げる、とまで言っておりました。とても心強い第7分区のTOPとなりそうです。

クラブとしては、瀬戸ガバナー・中村ガバナー補佐をしっかりと盛り上げて行ける1年にしたいと確認させられた1日でした。

石塚 徹青少年並びにライラ委員



3月23日の地区チームラーニングセミナー分科会に出席した報告をします。

次年度ライラセミナーはあすなろの里で開催されます。初めてのことでよくわかりません。諸先輩に伺いながら頑張りたいと思います。5月30日は委員会が開催されますので、行ってきます。

5月は青少年奉仕月間です

出席報告 淀名和茂彦委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
50名	33名	17名	0名	17名	100.00%

ニコニコボックス 山崎哲男委員長 入金額 50,000円 累計 1,548,000円

誕生祝御礼《会員》石塚(利)・青木(清)・熊谷・石塚(徹) 各会員 《ご夫人》染谷(正)会員
米山奨学生ヌグロホ・ファドリさん、水海道ロータリークラブによこそおいでくださいました。会員一同歓迎申し上げます。 五木田会員

久しぶりの例会です。本日もよろしくお願ひ致します。 大澤会員

米山奨学生、ヌグロホ・ファドリ君を宜しくお願ひします。 北村(英)会員

季節の変わり目です。体調にはくれぐれも留意頂きお過ごしください。 松坂(興)会員

急に暑くなりました。皆様お身体ご自愛下さい。 古矢会員

4月2日以降久しぶりの例会会場です。皆様お元気ですか?これからは暑さに向かってまいりますので体力気を養いましょう。今週から三大セミナーの報告を聞かせていただけること楽しみにしております。

青木(正)会員

本日もよろしくお願ひします。 宮本・青島 各会員

三大セミナーお疲れ様でした。役員の皆様とライムカラーのスタッフジャケットが躍動していました。この勢いで地区大会もがんばりましょう! 石塚(克)会員

バッジ忘れしました。 中山会員

その他 石井会員

早退します。 白井会員

例会欠席しました。 染谷(正)・鯉沼 各会員

会報委員会 松坂興一委員長 宮代 尚副委員長 青島弘典委員



優勝は武藤康之会員でした。おめでとうございます!



1 第6代よねやま親善大使が決定！7/1始動

昨年12月から約3カ月間にわたり行われた「第6代よねやま親善大使」の募集には、29人から応募がありました。広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、以下の3人が新たな大使に決定しました。任期は2025年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事やクラブ例会などのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使に関するご連絡は、当財団事務局広報担当まで。



プーガ フロレス パブロ マヌエル
(メキシコ/2006-08/東京三鷹RC)
三菱鉛筆株式会社勤務。第2750地区東京広尾RC会員。2023-24年度同クラブ会長を務め、多様性、公平性、インクルーシブ性(DEI)を意識したクラブ運営に取り組む。会長年度に同地区内一人当たりの米山寄付額が地区5位を達成。



ガンバト ツェムンバイヤル
(モンゴル/2014-15/大府RC)
コガス株式会社勤務。第3450地区フレ-RAC元会長。モンゴルの小中高一貫立学校への図書室設置プロジェクトや、チョンジュRC(韓国)と協力し経済的に困難な家庭の幼稚園児への学費支援を行うなど、さまざまな活動に尽力。



カレ タオ
(ベトナム/2023-25/旭川RC)
生活協同組合コープさっぽろ勤務。2024-25年度在日ベトナム学生青年協会・北海道支部の会長を務め、日本とベトナムの交流支援活動に尽力。その他、日本とベトナム両国の交流促進のためのイベントを多数企画・運営している。

2 米山奨学生が感謝を表現 第2660地区学友会

3月2日、大阪市内のホテルにて、国際ロータリー第2660地区米山学友会が「米山感謝祭」を開催しました。「米山感謝祭」とは、米山奨学生がお世話になったカウンセラーや世話クラブ、ロータリー会員への感謝の気持ちを伝えるため、奨学生自ら企画し、運営するイベントです。

当日は米山奨学生・学友47人、同地区の大橋秀典ガバナー、吉川健之ガバナーエレクトをはじめ、多数のロータリー会員が駆け付け、参加者は106人となりました。

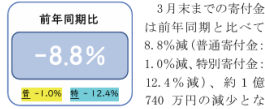
プログラムでは、「感謝の時間」と題し、奨学生たちがサプライズプレゼントや手紙をカウンセラーに贈り、直接思いを伝えました。また、米山バンドによる演奏と合唱が行われ、大盛況



バンド演奏を行う奨学生たち

のイベントとなりました。同学友会会長の奥徳信さん(2010-11/青森東RC)は、「奨学生たちは約3カ月前から何度も打ち合わせを重ねてきました。参加者からは『カウンセラーになって本当によかった』『自分もカウンセラーをやってみたい』といった声も聞かれました。大きなやりがいと、米山奨学事業の素晴らしさを体感できた一日でした」と述べました。

3 寄付金速報 — 単月では例年並みの推移 —



3月末までの寄付金は前年同期と比べて8.8%減(普通寄付金:1.0%減、特別寄付金:12.4%減)、約1億740万円の減少となりました。3月分の単月寄付額としては、昨年度より約580万円増加しました。今年度も残り2カ月半ほどとなりました。4月は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

4 2025 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2025 学年度の奨学生は 965 人となりました。新規採用者 701 人、継続者 264 人です(4月14日現在)。国・地域別では、中国 40.1%、韓国 13.1%、ベトナム 13.0%、ネパール 3.8%、インドネシア 3.7%、マレーシア、モンゴル、台湾が同率で 3.5% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が 919 人(学部 429 人、修士 315 人、博士 175 人)、地区奨励奨学生が 25 人、クラブ支援奨学生が 2 人、海外応募者

対象奨学生が 19 人となっています。4月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

5 「人生の宝物」世話クラブへのメッセージ

3月をもって多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出しました。今回は、中国出身の姜雅婷さん(2023-25/交野RC)に、2年間の奨学期間を過ごした世話クラブである交野RCへの感謝の思いを伺いました。

〈姜雅婷さんより〉

初めての例会は緊張で少し距離を感じていましたが、皆さまの温かさでいつの間にかとても身近に、そして家族のように感じられるようになりました。共にした思い出はどれも心に深く残っています。

この2年間、たくさんの方に支えていただきました。特にカウンセラーの嶋田健一さんと、紙園祭と一緒にいたり、浴衣を着たりと、日本の文化を体験する機会をたくさんいただき、



姜さん(右から2人目)とカウンセラーの嶋田氏(左)



異国の地での生活が心豊かで温かいものになりました。振り返ると、私は決して一人ではありませんでした。いつもそばで見守り、支えてくださる方々がいて、その温かさが大きな力を与えてくれました。おかげで自分らしく、前向きに歩んでいくことができたと思います。

温かい笑顔に囲まれて過ごした一瞬一瞬が、私の人生の宝物となりました。交野RCの一員として受け入れていただいたことを心から幸運に思い、そして感謝しております。皆さまと過ごした時間は、これからの私の人生において、ずっと輝き続けるでしょう。卒業後も、皆さまの活動にお力添えができればと思います。そのときにまた笑顔でお会いできることを楽しみにしています。

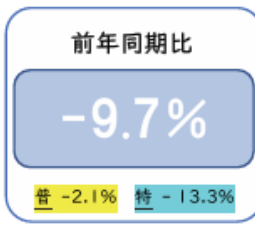
再見、またお会いしましょう。必ず！

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当: 長尾(ながお)



3 寄付金速報 — やや低調傾向に —



2月末までの寄付金は前年同期と比べて9.7%減(普通寄付金:2.1%減、特別寄付金:13.3%減)、約1億1,320万円の減少と

なりました。今月の寄付金は、前年度の初めに高額寄付をいただいたことによる影響を差し引いても、やや低調な結果となりました。来月以降は新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続き皆さまのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当財団は「紺綬褒章」の公益団体認定を受けています

当財団は 2018 年、内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました。個人では 500 万円以上、団体、企業等は 1,000 万円以上をご寄付をいただいた方で定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章の授与申請が可能です。紺綬褒章の申請に向けたご寄付を検討されている場合は、**あらかじめお申し出ください**(分納も可)。詳しくは当財団事務局まで。